

USB ダンパーの導入(2) —PC による Spotify の再生—

1. 始めに

前報(1)の情報を参考に、ヴォリュームアキュライザーの感想文により入手した USB ダンパーの効果を確認していきます。

2. USB ダンパーの試聴計画

まず、今回入手した USB ダンパーは、信号ラインの USB 接続と LAN 接続を対象とします。

オーディオ資料室収載の [Net Work・PC オーディオ 系統図](#)を確認しながら、対象を選択していくわけですが、いざ始めようとするとな次のような問題が起きました。

すなわち、作業性の面で、ラックの裏側にある入力端子は、USB ダンパー適用がしにくいということがあります。また、Buffalo の Hub は、業務用の Hub をオーディオ用に改編したもので、LAN 端子にガタがなく、USB ダンパー適用の隙間がありません。以上から、USB ダンパー適用の作業性も考慮しながら、再生対象と適用箇所を選んでいくことになりました。

そこで、まずは PC による Spotify の再生から始めます。

今回は、PC による Spotify の再生の再生経路は次のとおりです。

2F ルーター→Buffalo Hub→PC→Sonica DAC

まずは、USB ダンパーなしで聴いておき、PC の LAN 端子入力側と USB 端子出力側に適用します。それぞれの端子のどちら側に USB ダンパーを差し込むかは、適用のしやすさと信号ラインの接点をブロックしないような配慮でおこない、LAN 端子では爪のある方に 2 つ折りで (写真左)、USB 端子では USB マークのある方に 1 枚を (写真右) 挟みました。



なお、TruPhase と Langevin 6V6pp アンプには VRA-7 を貼っています。

3. USB ダンパーの試聴結果

Sopity のサイトから、Yoshihiko Ieki 演奏のバッハの Goldberg 協奏曲と神尾真由子演奏の無伴奏パルティータを再生します。

USB ダンパーなしで聴いてみても、既に TruPhase と Langevin 6V6pp アンプに VRA-7 を貼っている関係から、以前よりは、圧縮ファイルのストリーミング再生らしい肌理の粗さがかなり払拭されています。

まず、PC の LAN 端子入力側に適用しますと、音がくっきりとしてきます。

ついで PC の USB 端子出力側に適用しますと、音が緻密になり細かい音が出てきます。

LAN 端子入力側と USB 端子出力側に適用した結果、Goldberg 協奏曲ではチェンバロの繊細感が向上します。また、神尾真由子演奏の無伴奏パルティータは際どい音が消えて、倍音まで豊かに再生されます。

使用している PC は SSD タイプであり、振動も HDD よりはるかに小さいはずですし、PC の下には PSI-1000 を敷いていますので、少しくらい端子挿入にガタがあったくらいでどうということはなく、試験紙みたいなものを挟んだところで、大きな効果を期待できないと思っておりましたが、予想が外れました。

4. まとめ

PC による Spotify のストリーミング再生において LAN 端子入力側と USB 端子出力側に適用する効果を認めました。

以上